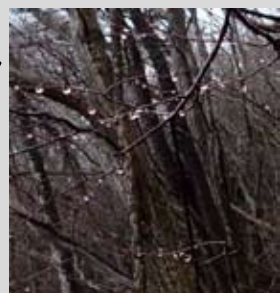




エコネット通信

VOL.36



オッホーの森歩きで見つけた木の枝についた水滴。

森を川をこの里の自然を子ども達へつなげたい！

ホームページ : <http://tono-econet.org/> フェイスブックでも情報発信中！

森のがっこうの新施設建築進む

家づくりを通じて森への関心を！

森への入り口の滞在施設

今年度から日本財団の助成を受け始まった「森のがっこう」プロジェクト。6月にプレオープンし、週4日の通常開放の他、子どもから大人までを対象とした自然体験イベントを行っています。場所は、遠野市最北に位置する薬師岳山麓。この森は国有林ですが、令和4年に当会と岩手南部森林管理署遠野支署との間で遊々の森事業の協定を結び、「オッホーの森」という名前で自然体験活動



オッホーの森の家での構造見学会の様子。当会で間伐した木材が使われている。

に利用させていただいています。この森に隣接した場所に、「オッホーの森の家(仮称)」という施設を建築しています。施設内には、薪ストーブのある談話室やキッチン・トイレ・お風呂があり、2階には宿泊スペースもあります。また、給湯用に薪ボイラーを設置します。

構造見学会開催

1月27日(土)に、施設を施行している(有)丸順工務店と当会が共催で、この家の構造見学会を開催しました。完成すると、その構造が見れなくなる箇所があるため、内装する前の段階での見学会を企画しました。この日の午前の部には10名が参加。施設内を回りながら、建築途中の柱や梁などの構造や断熱性能について施工管理スタッフに説明いただきました。また、大工さんに指導受けながら、鉋がけ体験や、当会スタッフとの丸太輪切り体験も行いました。



構造見学会では、大工さんの指導で鉋がけ体験も行いました。

当会の間伐材を活用

この家には、当会が整備している遠野市内の山林で間伐した杉や赤松を使用しています。一般的に家づくりでは、使われている木が、「どこで、誰が、どの様な作業で伐られたものか」知られることはほとんどありません。実態は、海外からの輸入材が多くを占め、国内産だとしても、山が皆伐されて丸裸にされている場合が多くあります。

近年の研究で、森の木々は様々な手段でコミュニケーションをとりあっていることが分かっています。森は、私達には知り得ない微妙で繊細なつながりの環の中で成立しています。人間の身勝手、そのつながりを壊すつげは、最終的に私達人間社会には、ね返って来るのではないかと思います。

食べ物については、誰がどこでどのようにして育てた野菜やお米なのかが関心を持つようになりました。家づくりでも同様になれば、その建物を通じて、その木々が育った森へも想いを巡らせる人が増えるのではないかと考えています。



当会で冬期間に間伐し、葉枯らし乾燥した木を造材・搬出し、森の家に使用しています。

森のデイキャンプ「おひさまのねっこ」&森のようちえん「どんぐりのぼうし」 12/2(土) 1/13(土)

12月は、幼児親子に小学生合わせて15名の参加者とスタッフ10名で開催しました。午前中は雪が積もったオッホーの森で森遊び。小学生グループは、森の奥へ登って行きますが、5歳の幼児も頑張って登っていました。雪が面白い様に固まるので、雪玉を作って投げたり、大きな雪玉を作って転がしたり。ふかふかの雪が積もっているので、ターザンごっこをして、ずり落ちてしまっても痛みありません。帰りは雪が積もった川でも遊びながら戻りました。

午後は早池峰交流館に移動して、みんなで育てた稲のワラを使って、正月に飾るしめ縄づくりをしました。スタッフがしめ縄についての絵本を読み聞かせて、いよいよしめ縄づくり。この日は、リース状に円形にする飾りを作りました。かつては当たり前子どもも大人も作っていたワラ細工ですが、今の子どもは、ワラに触れる機会すらありません。ワラ細工を通じて、自然素材の持つ魅力や暮らしの知恵を伝えていけたらと考えています。

1月の参加者は13名+スタッフ9名。この日のメインプログラムは、4月の種まきから6月の田植え、7月の草取り、10月の稲刈り、11月の脱穀、1月のワラ細工という田んぼでの活動のまとめとして、収穫したお米を炊いてご飯をいただきます。まずは、お正月ということで、お隣の早池峰神社を参拝。ソリを持参して、交代でソリに乗りながら引引っ張ってもらい神社に向いました。参拝後は、交流館に戻り、落ちている枝などを拾ってご飯作り。大きなご飯釜と、鉄鍋でカレーライスをお米を研いで、野菜の皮を剥いて切って、火をおこして。みんなで苦労して育てたお米の味は格別でした。

森のがっこうイベント「オッホーの森歩き」 12/16(土)

森のがっこうで、定期的に行っているイベント。今回は特にテーマを設定せず、自由にのんびり森との出会いを楽しむという企画です。この日は、小雨が降る中での開催となりましたが、小学生から大人まで8名が参加。タープテントの下で開会行事をした後に、雨具を着用してオッホーの森をゆっくり登って行きました。ここ数日の雨で雪が姿を消し、秋に逆戻りした様な落ち葉を踏みしめての森歩きです。雨の森には、いつもとは違う発見もあります。木の枝にぶらさがる水滴が、光を反射してきれいに輝いています。森の上の広場では、ツル登り大会。小学生に負けじとスタッフも果敢に挑戦しました。森からの下りは、普段はあまり通らない杉林へ。そこでは、この時期には珍しい、まぶしいほどの緑色が目に飛び込んできました。それは倒木や切り株についたコケ。ここ数日の雨で、潤いをえたのでしょう。しばらくぶりに見た美しい緑に、みんな感激していました。下の広場に戻り、焚き火囲んで暖かいお茶とマシュマロを焼いて食べ、感想を述べ合って終わりました。

森業倶楽部 12/24(日) 1/28(日)

12月の森業倶楽部は11名、1月は10名が参加し、上郷町の菊池光典氏(木暮工房)の指導いただきながら、間伐材の木工づくりに取り組みました。また、12月は、恒例となっている薪の駅のピザ窯でピザを焼いて、みんなでおいしくいただきました。



12月の森のデイキャンプ&ようちえんにて、森の雪遊び。



12月のデイキャンプ&ようちえんにて、ワラ細工の様子。



1月のデイキャンプ&ようちえんにて、新米を炊きました。



オッホーの森歩きにて、ツル登りにスタッフも挑戦！



1月の森業倶楽部では、塗装方法について学びました。

活動報告 (12月～1月)

山仕事ははじめの一步(入門)講座 12/10(日) 1/14(日)

12月の講座は9名が受講。この他に講師スタッフ6名が参加し開催しました。この日は、松崎町の杉林にて集材の実習。間伐した材を資源利用するためには、トラックが入れる場所まで、材を集めなければなりません。トビヤトング・サルカンという、手道具の使い方を教えて頂き、実際にやってみます。参加者は、慣れない道具の扱いに悪戦苦闘。12月という季節でも、5分もしないうちに体がぼかぼかになります。この作業を経験することで、伐り倒した材をきれいに枝払いする意味が体で理解できます。ちゃんと枝払い出来ないと、その部分が抵抗して、引っ張るのに苦労します。全員で1時間ほどすると、それまで散らばっていた材が、きれいに積み重ねられていました。人の力はすごいなあと感じました。

1月の講座は土淵地区センターの和室にて安全講習を行いました。この日の受講生は12名で、その他に講師スタッフ6名が参加。これまでの実習でも安全な作業方法などは指導いただきましたが、テキストに沿いながら、山仕事をする上での安全対策及び、安全な伐採方法なども改めて復習しました。また、午後は3つのグループに分れて、山仕事をする上での危険予知トレーニングのワークショップを行いました。

炭っこ倶楽部 1/26(金)

この日は、初体験の中学生1名を含む8名が参加し、薪の駅の炭窯からの炭出し、出した炭の炭切り、梱包、炭材の立て込み、火入れまでを行いました。炭出しを終えた後に、講師の千田淳氏に炭窯を点検いただきましたが、大きな問題箇所は見つからなかったということで、もうしばらく、ここの炭窯での活動が継続できそうです。炭を出して空になった窯内部に、材を立てるのですが、いかにまっすぐ隙間無く立てるかが難しい部分です。また、立てた材の上の空間も「上げ木」と呼ぶ木を寝かせて詰めます。空間により、材の長さを見極めて、隙間無く埋めるのは、パズルのようにでもあり、中学生も夢中で取り組みました。これからも、楽しみながら炭焼きの魅力を伝えていきたいと思えます。

薪づくり倶楽部&森の笠地蔵プロジェクト 12/3(日) 11/ 5(日)

12月の薪づくりは、16名の参加者と2名のスタッフで薪づくりを行いました。また、この日は、森の笠地蔵プロジェクトとして、午前中に綾織町の一人暮らし高齢者宅2軒に、午後は綾織町と小友町の高齢者宅に軽トラック各2台分の薪を配達しました。

1月の薪づくりは15名の参加者とスタッフ3名での薪づくり。また、この日は、森の笠地蔵プロジェクトとして、午前中に綾織町一人暮らし高齢者宅に、午後は小友町の高齢者宅に軽トラック各2台分の薪を配達しました。小友町のお家では、古い薪の移動や煙突掃除も行いました。

間伐倶楽部 12/23(土) 1/27(土)

12月の間伐倶楽部は6名で、1月の間伐倶楽部は8名で、松崎町の実習林で間伐・造材・搬出作業を実習しました。冬期間は運動不足になりがちですので、間伐して心身共にリフレッシュしませんか！



12月の山仕事講座では、手道具での集材を実習しました。



1月の山仕事講座にて、危険予知訓練ワークショップの様子。



炭っこ倶楽部。炭材を窯の中に隙間無く詰め込むのが難しい。



暖冬の影響か、薪づくり倶楽部参加者が多くいらしています。



間伐倶楽部では、講座修了生が指導役となっております。

主な活動の予定（2月～3月）

月日	タイトル	内容	活動場所
2/1(木)	林業研究グループ活動発表会	エコネット活動報告(代表千葉)	福島県郡山市
2/4(日)	薪づくり倶楽部/森の笠地蔵P	薪づくり、薪配達他	薪の駅、高齢者宅
2/10(土)	森のデイキャンプ&森のようちえん	森探検、雪遊び他	オッホーの森
2/11(日)	山仕事はじめの一步(入門)講座	目立て、ロープワーク	松崎地区センター
2/12(月祝)	そうぞうのたまご出店	つるトレイづくりWS	こども本の森
2/17(土)	オッホーの森歩き	森での自然観察他	森のがっこう
2/24(土)	間伐倶楽部	間伐・集材体験	松崎実習林
2/25(日)	森業倶楽部	間伐材を利用した木工	薪の駅
2/24(土)~25(日)	moritoモニターツアー冬編	雪洞泊、ムーンライトハイク他	オッホーの森他
3/2(土)	森業倶楽部	早春の森の自然観察他	松崎実習林他
3/3(日)	薪づくり倶楽部/森の笠地蔵P	薪づくり、薪配達他	薪の駅、高齢者宅
3/9(土)	森のデイキャンプ&森のようちえん	春の森の固雪歩き他	オッホーの森
3/9・3/16(土)	「すっぴん土曜日」放送(代表千葉)	エコネットの活動紹介予定	IBCラジオ(8時35分頃)
3/10(日)	山仕事はじめの一步(入門)講座	実習まとめ/特別講習	松崎実習林他
3/16(土)	間伐倶楽部	間伐・集材体験	松崎実習林
3/17(日)	森業倶楽部	間伐材を利用した木工	薪の駅
3月中下旬	森のがっこう開所式イベント	森のがっこうの本オープン	森のがっこう

【編集後記】

新年が始まりましたが、元旦早々の大災害。飛行機事故も立て続けに起きて、大変な幕開けになってしまいました。

そして、この冬の異常気象。1月下旬の厳寒期に、遠野の町中に雪がないというのは、これまで記憶に無い異様さです。例年なら連日の様に行う雪かきも、全くする必要も無く、楽ではありますが、何かザワザワとした気持ちが続くのは、私だけではないと思います。雪がこのまま少ないと、夏場の水不足なども懸念されます。

この状況に対して、個々の力は小さく見えますが、身近で出来ることから少しずつ取り組んで行きたいと改めて感じています。(千葉)

発行: NPO法人遠野エコネット
令和6年2月7日発行
岩手県遠野市附馬牛町上附馬牛19-530
Tel&Fax 0198-64-2250
E-Mail: pahaya@tonotv.com



森のがっこう活動報告会で挨拶する担当スタッフ。

遠野・森のがっこう便り その5

1月13日(土)の夜に、遠野市内の民宿みちのく荘において、当会の新年交流会を開催し、その前段で1時間ほど、森のがっこうの今年度の活動報告員会を開催しました。

当日は山仕事講座や薪づくり、森業

倶楽部など、エコネットの活動に参加いただいている岩手県内外各地から29名が参加。森のがっこうの運営担当者である照井から、スクリーンに映像を映しながら、この事業を始める経緯や、今年度の具体的な活動の様子、また、将来的な課題などについて説明がありました。

その後、新年交流会での懇親会となりました。会には、多様なバックグラウンドを持つユニークな方々が集い、皆に自己紹介の他にエコネットへの提言も述べて頂き、今後の森のがっこうについての意見も多く聞かれました。

森の学校の新拠点「オッホーの森の家(仮称)」が完成次第、本オープンの記念イベントを開催予定です。その際は皆様、ご来場くださいませ。